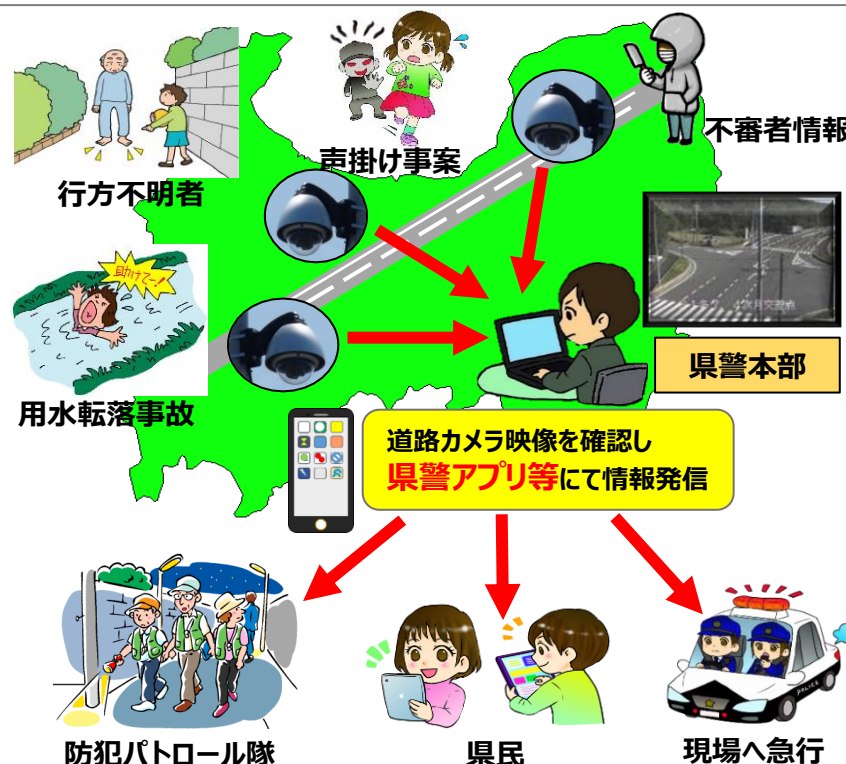
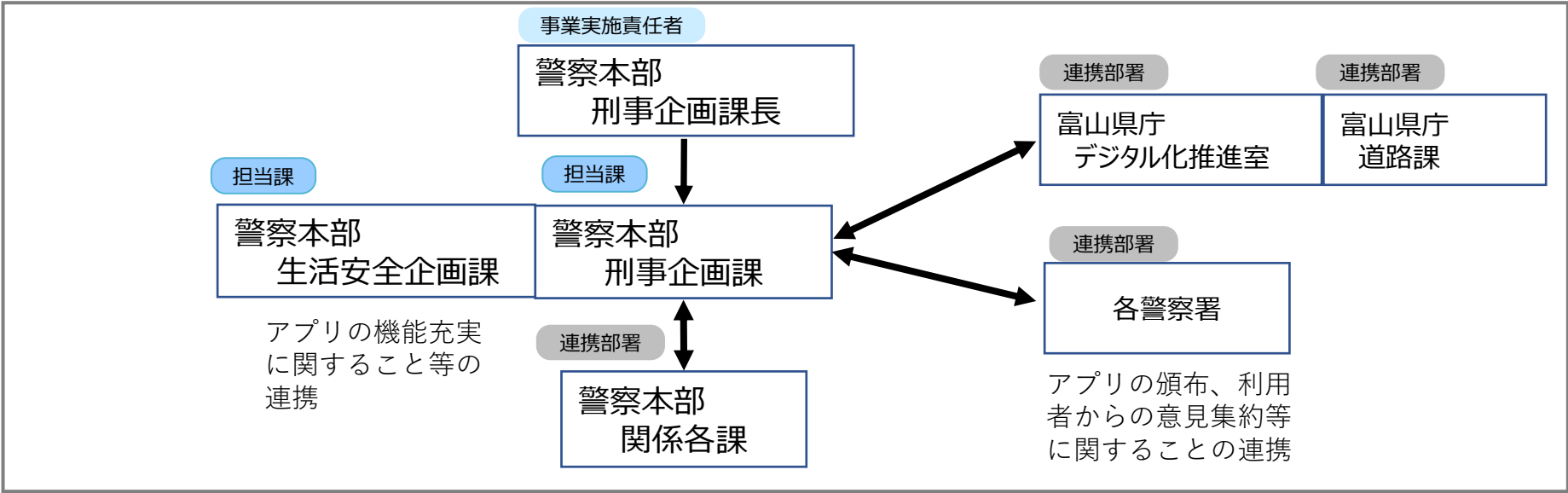


事業概要【見守りネットワークカメラシステム事業】

自治体名	富山県	人口	994,799人	事業費	3,382千円
事業概要	急増する特殊詐欺等の被害、児童や高齢者の行方不明事案等に迅速対応し、県民の誰もが安全安心に暮らすことができる共生社会を実現するためには、官民が連携した「見守るまちづくり」の構築が必要。県道路課が管理する道路カメラ映像をリアルタイムに確認し、犯罪発生状況や防犯に関する情報を県警安全安心アプリや安全情報ネットを通じて発信する「見守りネットワークカメラシステム」を開発・運用し、県民の安全確保の向上を図る。				
具体サービス	【県警アプリや安全情報ネットによる情報発信サービス】 行方不明事案や声掛け事案、各種事件・事故が発生した際、発生場所付近に設置された道路カメラ映像を確認し、事案発生状況や手配事項などに関する視覚的な情報を県警安全安心アプリや安全情報ネットを活用して発信することにより、県民がより正確な情報を得られるようにする。 				
主な KPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①見守りネットワークカメラシステムを活用した事案対応数 ②安全安心アプリのダウンロード累計数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①県民が不安に感じる犯罪に関する検挙率向上 ②安全安心を感じる住民の割合				

推進体制

■ 庁内の推進体制

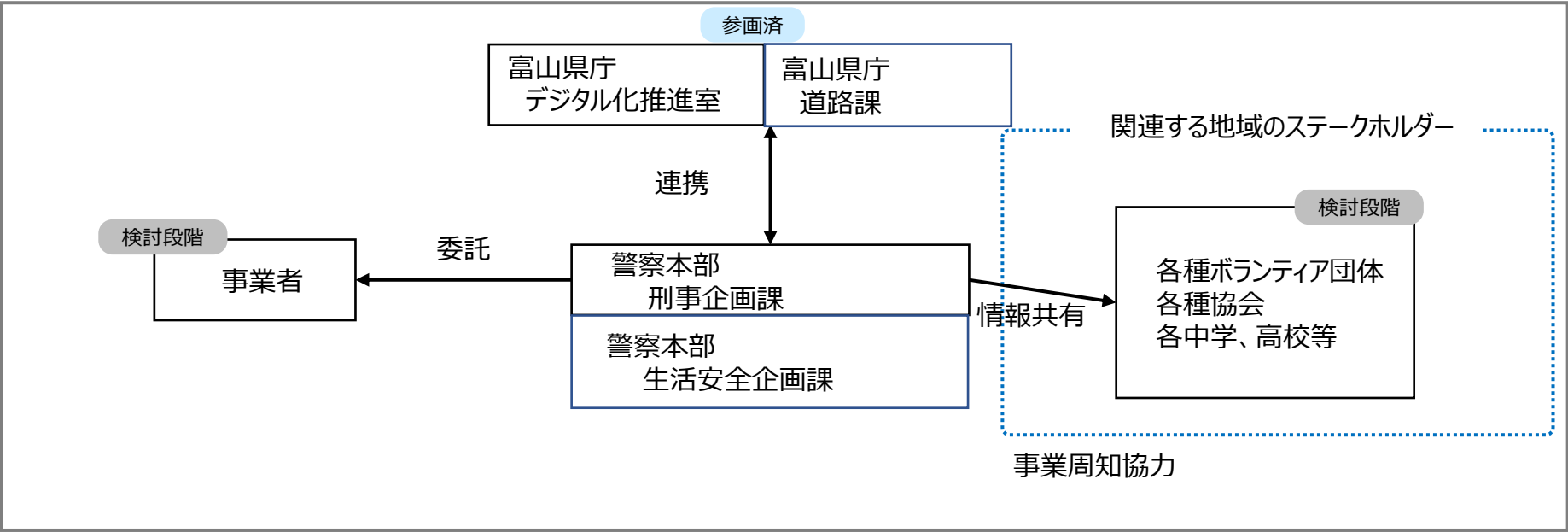


【各課室の役割】

役割	名称	具体的な業務内容
事業実施責任者	警察本部 刑事企画課長	・ 事業実施責任者。事業の総括
事業担当課	警察本部 刑事企画課 生活安全企画課	・ 事業担当課、事業のマネジメント
連携部署	富山県庁 デジタル化推進室 道路課	・ 県のポータルアプリ事業担当課 ・ デジタル田園都市国家構想交付金（実装タイプ）申請 ・ 道路カメラの運用に関することの連携
連携部署	警察本部関係各課	・ アプリ機能充実に関することの連携・内部検討
連携部署	各警察署	・ 防犯教室やイベント等におけるアプリの周知、利用者からの意見・感想等の吸い上げによる、アプリの外部展開

推進体制

■ 事業推進体制



名称	役割
警察本部 刑事企画課 生活安全企画課	- 事業の進捗管理 - アプリ事業の進捗管理
富山県庁 デジタル化推進室 道路課	- 県のポータルアプリにリンク予定 - デジタル田園都市国家構想交付金（実装タイプ）申請 - 道路カメラの運用に関する連携
事業者	- 受託者 - システム導入、運用等
各種ボランティア団体等	犯罪情報等の情報共有

名称	役割

具体的使途（経費内訳）

経費項目		金額（単位：千円）
1	システム開発費	3,060
	カメラ閲覧環境整備	
	カメラ時刻同期設定	
	アクセス制御機能設定等	
	現場・一般管理費	
2	専用機器	
	65インチモニター	176
	映像切替装置	146
経費合計		3,382